

2023年度第1回町田市保健所運営協議会 会議録要約

・日 時：2023年7月27日（木） 19：00～20：20

・場 所：市庁舎 3階 3－2、3－3会議室

・出席者一覧

区分	所属	氏名	出欠
学識経験者	北里大学医学部	堤 明純	出
	山梨大学出生コホート研究センター	堀内 清華	欠
	一般社団法人 町田市医師会	中川 種栄	出
	昭和女子大学食健康科学部	調所 勝弘	出
医療関係団体の代表	一般社団法人 町田市医師会	山下 弘一	出
	公益社団法人 東京都町田市歯科医師会	長崎 敏宏	欠
	一般社団法人 町田市薬剤師会	佐藤 康行	出
	東京都獣医師会町田支部	羽太 真由美	出
	町田市民病院	金崎 章	欠
市民団体からの選出	町田市民生・児童委員協議会町田第二地区	渡辺 綱市	出
	町田市町内会・自治会連合会	川畑 一隆	欠
関係行政機関の代表	警視庁町田警察署	島貫 匡	出（代）
	警視庁南大沢警察署	小宮山 文彦	欠
	東京消防庁町田消防署	山崎 純一	出（代）

※出：出席、出（代）：代理出席、欠：欠席

※敬称略

・ 要旨

発言者	内 容
保健所長 事務局	1. 開会 (1) 保健所長挨拶 ～資料確認～
保健総務課長 会長 健康推進課長 保健予防課 担当課長 保健予防課 保健対策担当課長	2. 議事 (1) 「(仮称) まちだ健康づくり推進プラン 24-31」について (資料 1-1、1-2、2-1～2-3 に基づき説明) 最終評価で、「D」になったところの簡単な説明と、今後について説明をお願いします。 資料 1-2 の p.3、「施策（４）女性特有の健康課題」にある「乳がん検診受診率」、「子宮頸がん検診受診率」については、コロナの影響があり、がん検診の受診控えがあったと思います。また、町田市のは検診だけではなく、職域の方を含めた割合で、国の目標は 50%、新たな目標としては 60% という形になっています。これまでも個別勧奨を中心に受診率向上に取り組んできましたが、引き続き取り組むとともに、後ほどご紹介しようと思っておりますが、今年度の計画の中で、協定企業と連携して大学での子宮頸がんの講演会を考えており、様々な機会を通して検診の受診について普及啓発を進めていきたいと考えております。 資料 1-2 の p.3「施策（２）栄養・食生活、食育の実践」にある「1日の野菜の摂取量の増加」につきまして。国の目標値は 350g 以上であるのに対し、町田市は初期値が 246g、2022 年度で 233g と減少しています。これについては、食生活の多様化や、物価の高騰で野菜が非常に高くなったことも原因があるのではと推察しています。ただし、コロナも落ち着きつつあるので、野菜摂取の普及啓発に努めていきたいと思っております。 資料 1-2 の p.4「施策（４）たばこ、アルコール、薬物による健康被害防止意識の向上」にある「未就学児を持つ母親が、妊娠中に喫煙していた割合」につきまして。保健医療意識調査結果によると、初期値より 2 倍になっています。今後、妊婦中の面接機会となるし、しっかりサポート面接や妊婦の方を訪問する機会を通じて、改めて意

	<p>識しながら関わっていく必要があると考えています。</p>
健康推進課長	<p>資料 1-2 の p.5「施策（５）NCD（非感染症疾患）」にある「大腸がん検診受診率」につきまして。コロナ禍では町田駅前のデジタルサイネージを使って周知をおこなったりしていましたが、職域に向けての対策も必要ということで、昨年度と同様に商工会議所を通じて職域に対して周知を行ったり、介護事業所に対してメールで周知を行うなど少しでも受診率が上がるような対策をしていきたいと考えています。</p>
保健総務課長	<p>資料 1-2 の p.6「施策（１）適切な受診に関する普及啓発」にある「一次・二次・三次医療機関の役割分担を知っている人の割合」、「東京版救急受診ガイド(インターネット)を知っている人の割合」につきまして。市では周知のための冊子を作成し、配布していますが認知度の向上にはつながっていないのが現状です。内部でも要因分析の議論をしましたが、アンケートに回答くださった方々のなかでもとりわけ元気な方々については、医療機関の役割分担等を知らなくても特段困ることがないので、周知をしても認知度は上がらないのではないかと考えております。次期プランでは、「＃８０００」と「＃７１１９」を積極的に広報していくことで、医療機関を受診したいと思ったときに適切な受診につながるよう、その番号を知っている人を増やしていきたいと思います。</p>
生活衛生課長	<p>資料 1-2 の p.8「施策（１）食の安全の確保」にある「営業施設を原因とする食中毒の発生件数」につきまして。目標としては年間１件以内、できるならば０件を、衛生管理という面で掲げて対応してきました。しかしどうしても、寄生虫等、生魚によるものが多く発生しており、これはお店の衛生管理等だけでは避けきれない部分があります。それ以外の要因によって食中毒が発生している場合もありますので、避けられない部分があつたとしても、それ以外の部分では発生がないよう、今度とも監視指導をしていきたいと考えております。</p>
会長	<p>目標に届かなかつた部分はあるということですが、その 7 割はもう改善傾向があるということですがいかがでしょうか。</p>
A 委員	<p>野菜の摂取量が低下しているという話ですが、今普通のスーパーで売っているような野菜と、オーガニックで売っている野菜では、例えばニンジン(betaカロテン)の量とかにもものすごく差があつたりします。ハウレンソウにほとんど鉄分が含まれていなかったりも</p>

	<p>します。野菜の違いによる摂取量をどう評価するか、何か考えはありますか。</p>
保健予防課 担当課長	<p>細かなところまでは把握していませんが、季節によって含まれている栄養素が異なるため、なるべく旬のものを食べて頂くよう、周知しています。</p>
A 委員	<p>栽培方法によってかなり異なります。昔の自然農法に比べると 100 分の 1 ぐらい減っているという話もあります。なるべく必要な栄養素が含まれている食品を、高いかもしれないが、お勧めしたいです。野菜を食べれば、何でも健康にいいのかなと勘違いしている市民もいると思います。</p>
会長	<p>町田の地産については何かありますか。</p>
保健予防課 担当課長	<p>市としては、地産地消を推進しています。</p>
会長	<p>今後のプランについても考えるということですので、B 委員からも自殺対策で何かあれば。</p>
B 委員	<p>実感として、20 年間クリニックをしてきて過去 1 年間で最も自殺者が多かったです。コロナが終われば普通に生活できると思ったら、地震など様々なことがあり、安心感のない社会。7 月の終わりで皆さん夏休みであっても不調な方が増えました。これからの自殺対策はこれまでのことを踏襲するだけでなく、今の時代の傾向を汲んだ対策が必要だと考えます。</p>
健康推進課長	<p>確かに自殺の傾向として、災害が起こったときに、しばらく経ってから増えるという事は言われています。自殺者数についてはこれまでずっと下がっていましたが、去年は増加に転じています。これは町田市においても同様です。現行計画では、策定時よりも 3 割減らしていくという目標を立てており、そこに着実に向かっていたものの、去年増加に転じました。引き続き、保健所だけではなく、関係している様々な機関がともに対策をとる必要があると考えています。</p> <p>次期計画の策定にあたっては、庁内はもとより、関係機関にもどういったことが実施できるか照会し、その内容を取組と関係機関の取組として掲載する予定であり、総合的に進めていく必要があると考えています。現在の状況を委員の皆さまの意見も伺いながら、施策</p>

	に反映していきたいと考えています。
A 委員	最近 35 度を超える暑い日が続いており、熱中症が増えていると思います。救急車が出払っていて、大変な状況になっています。熱中症警戒アラートの発令状況はどこで確認できるのか教えてください。
健康推進課長	熱中症警戒アラートについては、気象庁と環境省が、前の日の夕方と当日に出しています。市が作成しているチラシにある QR コードから読んでいただければ、確認できます。また、市ホームページや、市の「防災情報」のメール・LINE 配信に登録されている方にも通知が届きます。
A 委員	町田市で熱中症警戒アラートが今出ているかどうか、分かるのか。
健康推進課長	基本的には都道府県単位で熱中症警戒アラートが出ます。東京都だと観測地が 11 か所ぐらいあり、島しょの方も含めて東京都なので、そこは確認頂く必要があります。北海道については区域ごとにあります。
会長	消防署から、山崎委員の代理で出席されている高橋様は何か関連情報をお持ちか。
C 委員	熱中症のお話はまさにその通りで、救急車が足りないぐらいの状況です。私も本日 Web で参加させていただいているのは、この後救急車に乗務する任務があるためです。町田消防署、東京消防庁として救急隊がフル稼働していますが、それでも足りない状況にあります。一線の車が壊れたとか、車検に入庫で代車が必要な時用の予備車も活用して、職員の中から乗るメンバーを選出して乗務するという状況が出始めています。これからより暑くなることが予想されるため、そのような日が増えるのかなと思います。救急隊メンバーも 24 時間勤務のうちほとんど消防署におらず、救急車の中で朝ご飯・昼ご飯・夜ご飯を食べているような状況です。
会長	救急車を呼ぶ前の段階で止められるよう、熱中症警戒アラートが活用できれば良いと思います。皆さんぜひ周知もご協力いただければと思います。
健康推進課長	熱中症警戒アラートは個々に届くので、やはり登録を促すようなことを引き続き行っていきたいと思う。

会長	では食育関係につきまして、今回かなり力を入れられてということですが、よろしければ D 委員にご意見をお願いしたいと思います。
D 委員	食育関係についても、やはり先ほどの野菜もしかり、日常の生活と密接にかかわるとともに、いろいろな他の計画にも食というものがつながっていると思いますので、指標をよりよく結果を残していくというところで、保健所だけでなく色んな団体と絡んで成果を出していきたいと思います。
E 委員	野菜は、ジュースや何とか食品のフードなどの摂取でも構わないのでしょうか。
D 委員	もちろん（生の）野菜の方がよいですが、なかなか野菜をとることができなければ、取らないよりはジュース等で摂取する方がましという認識でいます。
E 委員	高齢の方々は、エアコンを付けるようお伝えしても、暑くないと言われる方がおられます。本当に暑いのだが「そんなことはない」とおっしゃるのが自分には不思議ですが、高齢者になると肉体的に違ってくるのでしょうか。
健康推進課長	熱中症対策の中で、エアコンを付けていただくことに対する注意喚起の必要性はあります。やはりご自身で気付かないうちに家の中で熱中症になる方がいらっしゃるので、市としても普及啓発は行いますが、地域の見守りの中でもお声掛けをして頂けるとよいと思います。
会長	<p>ご自身の自覚はともかく、適温で過ごしていただけたらということですね。</p> <p>前回会議でオーバードーズの話が出ていて、今回この計画の中に盛り込まれているということですが何かご意見はありますか。</p>
F 委員	オーバードーズについては特段具体的にはできていると思います。一部発売制限等、薬剤師会の会員については問題なく対応していると思っています。その先の細かな部分になると把握していません。
会長	今回まずは「啓発」ということでコラムも入れていきますね。
F 委員	学校薬剤師等もいますので、学校で子どもたちに対する教育の場面はあり、学校では授業の中で啓発するようにしています。

保健総務課長	(2) 2022 年度実績報告及び 2023 年度事業計画 (資料 3 に基づき、保健総務課の事業について説明)
健康推進課長	(資料 4 に基づき、健康推進課の事業について説明)
会長	SNS の自殺相談防止事業とはどのような仕組みなのでしょう。
健康推進課長	いわゆる委託事業であり、町田市内からグーグル検索で生きづらさに関する様々な単語を打つと、広告として相談先一覧が表示されます。そこをクリックすると委託業者につながり、そこから返信をして、相手が希望すればその後の相談につながるといったものになっています。
会長	これは町田市民向けのものですか。
健康推進課長	Google の町田市内の位置情報を使用しています。多少の誤差が出るが、基本的には町田市内の方向けになります。
会長	Google を経由というのは理解しましたが、その時の希望によって相談体制ができているということでしょうか。
健康推進課長	NPO に委託をしており、受けたら 24 時間以内に返信することになっています。毎月報告を受けて状況を聞いていますが、やはり新規につながっても途中で相談希望がなくなったりもします。相手の希望に添って、相談を継続することとしています。
保健所次長、 保健予防課 保健対策担当課長	(資料 5 に基づき、保健予防課の事業について説明)
E 委員	引きこもり支援のネットワークについて、今どのようなかたちで今後どのようなようになるのかを伺いたいです。現在、民生委員が町田市全体で、校長先生と学校の先生と問題の生徒の洗い出しを行っています。そこで必ず出てくるのが不登校で、引きこもって学校に来ない子どもです。この子たちは手の出しようがなく、頭を抱えている先生もかなり多いのでその辺どのような対策をするのかお聞きしたい。
保健予防課 保健対策担当課長	保健福祉、教育、就労、医療分野、当事者支援の関係機関が連携し、切れ目のない支援体制を構築していくために「ひきこもりネットワ

	<p>ーク会議」を開催しており、事例検討を行うとともに、各関係機関と顔が見える関係づくりに努めています。また、今年度も「地域精神保健福祉連絡協議会・専門部会」も開催しています。多職種の各方面の方に御出席いただいている会議です。</p>
D 委員	<p>「ガチ 1 分クッキング」（野菜レシピブック）について、時間がないので朝ごはんを食べていない人が多いことに加えて、野菜の摂取に着目するのは良い企画だと思います。朝だけではなく、夜も気にして野菜をとれば良いと思います。だいたいどのくらいの頻度で発行する予定でしょうか。</p>
保健予防課 担当課長	<p>2022 年度から大体年に 2 回発行しています。本年度も今回は 6 月の食育月間と、あとは年内 11 月ぐらいに予定しています。</p>
生活衛生課長	<p>（資料 6 に基づき、生活衛生課の事業について説明）</p>
A 委員	<p>狂犬病の予防接種はなぜ少ないのかなと思います。接種をしない飼い主がいることに驚きがあります。うちも 2 年前に保護犬を譲渡会でいただいてきましたが、何の予防接種もされておらず、予防注射をその時から始めました。愛犬を捨てるとか、飼い主としての自覚が足りない人が多いのかなと思いますが、その点はどうか。</p>
生活衛生課長	<p>その点については普及啓発をしていきます。中にはかなり高齢であったり病気であったりする犬もいて、本来であれば動物病院に行って、猶予証明を取っていただいた上でこちらにお届けしていただく必要がありますが、できていないケースもあります。飼い主のお考えもあると思いますが、引き続きしっかりとした指導を行いたいと思います。</p>
	<p>4. 閉会</p>